

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位
 対象学年組：第1学年 A組～H組
 教科担当者：（A・D・E組：中川）（B・C・F・H組：鈴木小）（G組：石田）（組：）（組：）
 使用教科書：（高等学校 現代の国語（第一学習社））

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 文章理解に必要な基礎的な語句や文法を学び、主張と論拠、具体と抽象などの論理構造を理解する。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の意図を正しく理解して文章を解釈し、多様な情報と関係付けながら自分の考えを深める。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを構成や展開を工夫して適切に文章化し、目的に応じた話し合い活動や発表を行う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・評論や小説の読解に必要な語句や漢字、文化的背景についての知識を身に付ける。 ・修辭を理解し、論の構造や情報と情報の関係を理解する。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元『「本当の自分」幻想』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 仮説と検証の構造を理解し筆者の主張とその根拠を掴む。 【学びに向かう力、人間性等】 ALに積極的に参加する。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について理解する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	○	○	○	5
	B 単元『羅生門』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字、文化的背景についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を示して自分の考えを論述する方法を学ぶ。	・指導事項 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 レポートの提出	○	○	○	○	○	○	6
	C 単元『水の東西』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 二項対立の関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ALに積極的に参加する。	・指導事項 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 パワーポイントを活用したグループワークと発表	○	○	○	○	○	○	7
	D 単元『砂に埋もれたル・コルビュジエ』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字、文化的背景についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を示して自分の考えを論述する方法を学ぶ。	・指導事項 一人称小説の構成について考える。戦争中の社会的背景をもとにして、父の心情を整理し、主人公の心情変化を丁寧に追う。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 レポートの提出	○	○	○	○	○	○	8
定期考査					○	○			1
C 単元『ものごとば』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して筆者の主張を的確に捉え、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ALに積極的に参加する。	・指導事項 具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	○	○	○	8	
F 単元『夢十夜』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にALに参加する。	・指導事項 夢という非日常的な世界において「自分」の判断の根拠を読み解き、自分なりに解釈する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 グループワーク、発表	○	○	○	○	○	○	4	

2 学 期	G 単元『フェアな競争』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を的確に捉え、文章に含まれる情報を相互に関連付けながら内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会や政治の特徴・課題について調べる。	・指導事項 筆者が自説を述べるための論の展開を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」の関係を理解する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習 リフレクションシートの提出	○	○	○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア) ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを持っている。 ・自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方や説明の仕方を工夫して文章化しようとしている。(B1)ウ)	○	○	○	10
	H 単元『鏡』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にALに参加する。	・指導事項 「鏡」の象徴性や独自スタイルの語りについて考え、自分の意見を述べる。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア) ・筆者の主張に対する自分の考えを、根拠をもって他者に説明できる。	○	○	○	6
3 学 期	I 単元『不均等な時間』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 対比による推論を叙述をもとに理解し、文章の主旨を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にALに参加する。	・指導事項 具体的事例から一般論への展開と対比構造を手掛かりに、近代化と時間の合理性について理解する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア) ・筆者の主張に対する自分の考えを、根拠をもって他者に説明できる。	○	○	○	7
	J 単元『城の崎にて』 【知識及び技能】 随想的文章の読解に慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み解き、作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にALに参加する。	・指導事項 作中に示された死生観について理解を深め、自分の考えを論述する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア) ・作品に表された死生観を積極的に読み取り意見をまとめて話し合おうとしている。	○	○	○	7
合計										70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A・B・E組：遠藤）（C・F・H組：中川）（D・G組：鈴木）

使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化についての教養を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考力や豊かな想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識し、言語文化の担い手としての自覚を持って他者や社会に関わる態度を育てる。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・読解に必要な語句や文法の知識を身に付け、作品の背後にある価値観や豊かな文化的背景を踏まえて古典の世界に親しむことの意義を理解する。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉を通して積極的に他社や社会に関わったり、物の見方や感じ方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深める。 ・読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元「児のそら寝」「絵仏師良秀」 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 説話の特性や面白さに気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読やALに参加する。	・指導事項 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人物描写の巧みさを知る。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	○	○	○	5
	B 単元「漢文の学習」訓読 【知識及び技能】 訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 訓読の方法を習得し、各字の働きを理解して文章を読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉と漢文のつながりを理解し、積極的に音読する。	・指導事項 古典として漢文を読む意義を知り、漢文訓読のための基礎知識や句法を習得する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	C 単元「なよ竹のかぐや姫」 【知識及び技能】 用言の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 最初期の物語の性質や描写の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読やALに参加する。	・指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに用言の活用について学ぶ。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	○	○	○	8
	D 単元「狐借虎威」「蛇足」 【知識及び技能】 語彙や句形の知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 たとえ話を読み解き、主旨を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉と漢文のつながりを理解し、積極的に音読する。	・指導事項 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	○	○	○	8
定期考査					○	○		1	
E 単元「伊勢物語」 【知識及び技能】 基本的な助動詞と和歌特有の修辞法について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物語中における和歌の役割や効果を考え、解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 他の資料と読み比べて作品理解を深める。	・指導事項 話の中で和歌が果たしている役割を理解したうえで、当時のものの見方や感じ方を味わう。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 P Pによる個人発表	○	○	○	○	○	○	9	
F 単元「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」 【知識及び技能】 基本的な助動詞と和歌特有の修辞法について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 和歌の役割や効果を考え、描かれる情景や心情を読み味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 他の資料と読み比べて作品理解を深める。	・指導事項 話の中で和歌が果たしている役割を理解したうえで、当時のものの見方や感じ方を味わう。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 グループワーク	○	○	○	○	○	○	5	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

教科担当者：(A, C, F, H組：原) (B, D, G組：宮成) (E組：小堀) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(文学国語 筑摩書房)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学 期	A 単元『異なり記念日』 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	・指導事項 現実を多面的に捉える想像力を身に付ける。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「異なり記念日」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア) 「異なり記念日」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)イ) 「異なり記念日」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(Bア) 表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	5
	B 単元『バイリンガリズムの政治学』 【知識及び技能】 「道路標識」を筆者はどのように分析しているか、読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が目指している「新たな表現」とはどのようなものか、考える。 【学びに向かう力、人間性等】 日常で「境界」の存在を感じる場面を挙げ、その境界を動かしたり、崩したりすることでどのようなことが見えてくるか、話し合う。	・指導事項 豊かな認識へと導くことばに触れる ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「バイリンガリズムの政治学」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類(随想・評論)や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ) 「バイリンガリズムの政治学」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)イ) 「バイリンガリズムの政治学」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。(Bエ) 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2 学 期	C 単元『山月記』 【知識及び技能】 フィクションの世界だからこそ際立つ人間の姿を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物のやり取りに注目し、小説の中の会話の表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 月を描いた場面を本文中から抜き出し、それぞれがどのような効果をおよぼしているか、話し合う。	・指導事項 小説から情景や心情を読み取る ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「山月記」の読解を通して、文学的な文章の種類(小説)や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ) 「山月記」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア) 「山月記」を参考に、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。(Aイ) 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	○	○	○	16
	定期考査					○	○		1	
	D 単元『こころ』 【知識及び技能】 人間関係をおさえて、「私」の観察と分析、心理の揺れ動きを辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 人物のようすに留意して、物語を立体的に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 物語をもとに、自らの考えを深め表出させる。	・指導事項 「自己」を追い求める近代の特色について考える ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 「こころ」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(Bイ) 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1	
	D 単元『こころ』 【知識及び技能】 人間関係をおさえて、「私」の観察と分析、心理の揺れ動きを辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 人物のようすに留意して、物語を立体的に捉える。	・指導事項 「自己」を追い求める近代の特色について考える ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 「こころ」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(Bイ) 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	10

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科： 国語 科目： 古典探究 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組
 教科担当者： (A, C, F組：宮成) (B, H組：小堀) (D, E, G組：原) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (精選古典探究 第一学習者)
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 「枕草子」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとしている。	・指導事項 内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたものの見方や考え方を理解する。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) 学習の見通しをもって『枕草子』を読み、類集的章段・随想的章段・日記的章段があるという作品の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	8
B 単元 故事・寓話 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
C 単元 更級日記 【知識及び技能】 文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。	・指導事項 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。	○	○	○	7
D 単元 十八史略 【知識及び技能】 訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	・指導事項 戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、王が二人の大夫に下した判断の理由を読み取る。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典などを読むことを通じて、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ) 積極的に史伝を読み、二つの国の評判と実態を捉えようとしている。	○	○	○	3
定期考査						○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

国語 科目 古典精読

教科：国語

科目：古典精読

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ H組

教科担当者：(①A B組：原) (②C組：原) (③D組：小堀) (④E F組：鈴木) (⑤G H組：小堀)

使用教科書：(『精選 古典探究』第一学習社)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典精読

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元「古今著聞集」「今物語」 【知識及び技能】 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	・指導事項 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉え、古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等		○		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) ・積極的に説話を読み、和歌の修辞や和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 故事成語「推敲」「知音」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 故事という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等		○		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
	C 単元「伊勢物語」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しを持って読み、作中で和歌が果たす重要な役割について理解を深めようとしている。	・指導事項 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情を読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等		○		・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	D 単元「十八史略」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	・指導事項 戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、登場人物の考えや人物像を読み取る。史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等		○		・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) ・積極的に史伝を読み、時代背景を踏まえて登場人物の関係を整理したうえで人物像を捉え、作品の展開や意図を進んで説明しようとしている。	○	○	○	2
定期考査						○	○		1	

昭和高等学校 令和5年度 教科 国語 科目現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：3単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(A組：山倉) (B組：石田) (C組：神田) (D組：神田) (E組：石田) (F組：山倉) (G組：山倉) (H組：神田)

使用教科書：精選現代文B 改訂版(筑摩書房)

使用教材：新訂総合国語便覧(第一学習社)・TOP2500(いっずな書店)・現代文単語(数研出版)・現代文攻略読む!問題集3(明治書院)

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	近代の成立—遠近法	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとの要旨をつかむ。それをもとに論理展開を確認する。 評論文に頻出する語句を理解する。 近代の特質と遠近法とのかかわりを理解する。 評論文に頻出する「近代」について理解を深める。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
5月	科学技術と生活空間	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとの要旨を自分の方で理解し、全体の論理構造を把握する。 科学技術の発達が生生活空間を変質させた「功」「罪」をとらえ、現代社会に通じる問題として考える。 「大衆」の登場と生活空間の変質の関係をとらえる。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
6月	舞姫	<ul style="list-style-type: none"> 森鷗外の小説の意義を理解する。 文語文(雅文体)のリズムと格調を理解する。 明治知識人の宿命と心情の変化を理解する。 近代文学史を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
7月	期末考査 入試問題(評論)	評論の読み取りを生かし、実際の入試問題に取り組む。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
8月				
9月	チャンピオンの定義 であることとすること	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の関心のありかを知り、筆者の考えの深化や感受性を理解する。 言葉のイメージや人間の捉え方、他社理解のあり方を考察する。 現代を中心ととらえる歴史観を否定する文章を読み、筆者の主張を自分の力でとらえる。 近代で獲得した権利とそれに伴う義務を整理し、「近代」を総括する。 現代人が抱えている問題、その解決に求められている姿勢、在り方を社会に出ていく者として考察する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	中間考査 貨幣共同体	・経済学者の明晰で味わい深い文章を読み、社会科学を語る文章への理解を深める。 ・社会機構として認識されている「貨幣」システムが実は虚構であることを理解し、現代社会に対する問題意識を涵養する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
	藤野先生	・登場人物の境遇や言動に注意して、その心情や考え、その変化を理解する。 ・他者との関係が自己の形成に大切な意味を持つことを理解する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
12月	期末考査 入試問題（小説）	授業での小説の読み取りを生かし、実際の入試問題に取り組む。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
	入試対策	・実際の入試問題を用いて、授業で実践してきた文章理解力と考察力を伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
1月	入試対策	・実際の入試問題を用いて、授業で実践してきた文章理解力と考察力を伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
2月	入試対策	・実際の入試問題を用いて、授業で実践してきた文章理解力と考察力を伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
3月	入試対策	・実際の入試問題を用いて、授業で実践してきた文章理解力と考察力を伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	

昭和高等学校 令和5年度 教科 国語 科目古典B(α) 年間授業計画

教科：国語 科目：古典B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年選択者

教科担当者：石田・神田・宮成・山倉

使用教科書：高等学校古典B 古文編・漢文編 改訂版（三省堂）

使用教材：新訂総合国語便覧（第一学習社）・新明説総合古典文法（尚文出版）・漢文必携（桐原書店）・重要古文単語315（桐原書店）
 ・文語文法（助動詞・助詞・敬語・識別）ワークブック（日栄社）、基礎編古典読解問題（駿台文庫）、古典文法10題ドリル（駿台文庫）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	能登殿最期 建礼門院右京大夫集	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次までに学習した用言・助動詞を確認しながら読む。 ・軍記物語特有の表現に注意しながら、本文に明示されない心情を理解する。 ・和歌の込められた筆者の心情を表現に即して理解する。 ・中世文学史・女流日記文学を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
5月	孟子 荀子	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次までに学習した漢文の知識をもとに、主体的に読解する。 ・重要句法の理解を進める。 ・諸子百家の思想を儒家と道家を中心に理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
6月	蜻蛉日記	<ul style="list-style-type: none"> ・日記文学特有の表現に注意しながら、地の文に語られる筆者の心情と和歌との関連をとらえる。 ・平安貴族の恋愛と結婚を中心に文化的背景を理解する。 ・平安期の文学史を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
7月	期末考査 入試問題（小説）	既習知識等の定着・応用力育成のため、実際の入試問題に取り組む。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
8月				
9月	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した文法や古語の知識をもとに、高校での古文学習の集大成として、源氏物語を継続的に読む。 ・登場人物の置かれた状況と心情とのかかわりを読解する。 ・長編物語における途上人物の成長や運命を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	中間考査 捕蛇者の説	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した漢文の知識をもとに、段落ごとの展開をとらえ、筆者の主張を論理的に把握する。 筆者の主張が社会批判につながることを理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
11 月	捕蛇者の説 玉勝間 源氏物語玉の小櫛	<ul style="list-style-type: none"> 古文評論を読み、筆者の主張をとらえる。 これまでに読んだ儒家の思想や源氏物語と保通宣長の主張を関連させて理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
12 月	期末考査 入試問題	既習知識等の定着・応用力育成のため、実際の入試問題に取り組む。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
1 月	入試対策	<ul style="list-style-type: none"> 実際の入試問題を用いて、知識と理解を更に伸長する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
2 月	入試対策	<ul style="list-style-type: none"> 実際の入試問題を用いて、知識と理解を更に伸長する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
3 月	入試対策	<ul style="list-style-type: none"> 実際の入試問題を用いて、知識と理解を更に伸長する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	

昭和高等学校 令和5年度 教科 国語 科目古典B(β) 年間授業計画

教科：国語 科目：古典B 単位数：2単位

対象学年組：第3学年選択者

教科担当者：遠藤・中川

使用教科書：高等学校古典B 古文編・漢文編 改訂版（三省堂）

使用教材：新訂総合国語便覧（第一学習社）・新明説総合古典文法（尚文出版）・重要古文単語315（桐原書店）・文語文法（助動詞・助詞、敬語・識別）ワークブック（日栄社）、基礎編古典読解問題（駿台文庫）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	能登殿最期	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次までに学習した用言・助動詞を確認しながら読む。 ・軍記物語特有の表現に注意しながら、本文に明示されない心情を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
5月	建礼門院右京大夫集 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の込められた筆者の心情を表現に即して理解する。 ・中世文学史・女流日記文学を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
6月	蜻蛉日記	<ul style="list-style-type: none"> ・日記文学特有の表現に注意しながら、地の文に語られる筆者の心情と和歌との関連をとらえる。 ・平安貴族の恋愛と結婚を中心に文化的背景を理解する。 ・平安期の文学史を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
7月	期末考査 入試問題（小説）	既習知識等の定着・応用力育成のため、実際の入試問題に取り組む。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
8月				
9月	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した文法や古語の知識をもとに、高校での古文学習の集大成として、源氏物語を継続的に読む。 ・登場人物の置かれた状況と心情とのかかわりを読解する。 ・長編物語における途上人物の成長や運命を理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
10月	中間考査 源氏物語		定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
11月	玉勝間 源氏物語玉の小櫛	<ul style="list-style-type: none"> ・古文評論を読み、筆者の主張をとらえる。 ・これまでに読んだ儒家の思想や源氏物語と保通宣長の主張を関連させて理解する。 	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
12月	期末考査 入試問題	既習知識等の定着・応用力育成のため、実際の入試問題に取り組む。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
1月	入試対策	・実際の入試問題を用いて、知識と理解を更に伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
2月	入試対策	・実際の入試問題を用いて、知識と理解を更に伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	
3月	入試対策	・実際の入試問題を用いて、知識と理解を更に伸長する。	定期考査と小テスト 課題の提出等による。	